

町では、「大網白里町財政事情の作成及び公表に関する条例」に基づき、皆さんから納めていただいた税金等がどのように使われたか、また、使う予定なのかを知っていただくために、『財政事情』を年2回(5月と11月)公表しています。今回は、平成23年度決算の概要と、平成24年度上半期(4月～9月)の収支状況、また、平成23年度の健全化判断比率と資金不足比率についてお知らせします。

町財政課財政班 ☎(70)0310

財政事情

平成24年11月版

平成23年度会計別決算

下段の()は、22年度の決算額です。

会計名		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		14,295 (13,064)	13,650 (12,451)
特別会計	国民健康保険	5,515 (5,255)	5,359 (5,128)
	老人保健	— (13)	— (13)
	後期高齢者医療	357 (342)	351 (339)
	土地取得事業	151 (1)	150 (1)
	公共下水道事業	1,370 (1,349)	1,340 (1,294)
	農業集落排水事業	145 (139)	142 (132)
	介護保険	2,989 (2,747)	2,920 (2,679)
	介護サービス事業	18 (—)	17 (—)
	土地区画整理事業	241 (362)	158 (340)
	合計	25,081 (23,272)	24,087 (22,377)

ガス事業		(百万円)
区分	決算額	
ガス事業収益	687 (680)	
ガス事業費用	668 (664)	
資本的収入	2 (17)	
資本的支出	122 (101)	

病院事業		(百万円)
区分	決算額	
病院事業収益	2,142 (1,963)	
病院事業費用	2,179 (1,990)	
資本的収入	74 (81)	
資本的支出	123 (129)	

平成23年度の決算については、老人保健特別会計が平成23年3月31日で終了となりましたが、介護サービス事業特別会計を新設したことから、特別会計は昨年度と同じ8会計となりました。決算額は合計で、歳入が250億8,079万円、歳出が240億8,677万円でした。

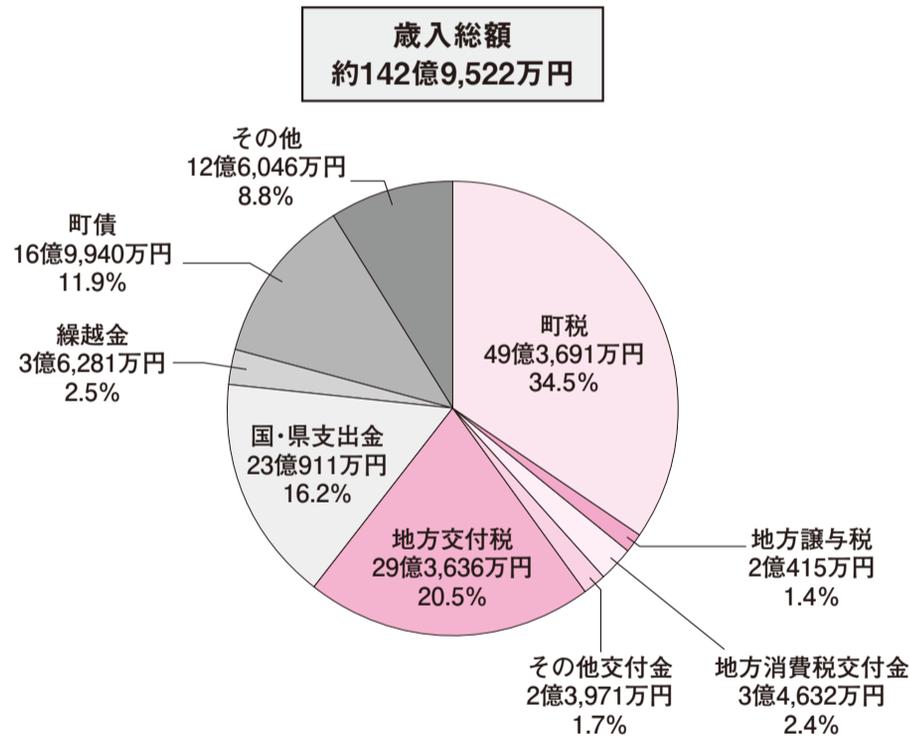
主な増減理由としては、一般会計は、大網小学校移転改築事業、白里小学校耐震改修事業の実施などが増額の要因として挙げられます。土地取得事業特別会計は、保留地の一般会計への所管換えに伴う有償整理(資金移動処理)を行ったため増額となっています。また、国民健康保険や介護保険特別会計は、給付費が依然として伸び続けているため増額となっています。

一般会計をはじめ、土地区画整理事業特別会計等6会計で、約6億8千万円の事業費について平成24年度へ予算の繰越しをしています。

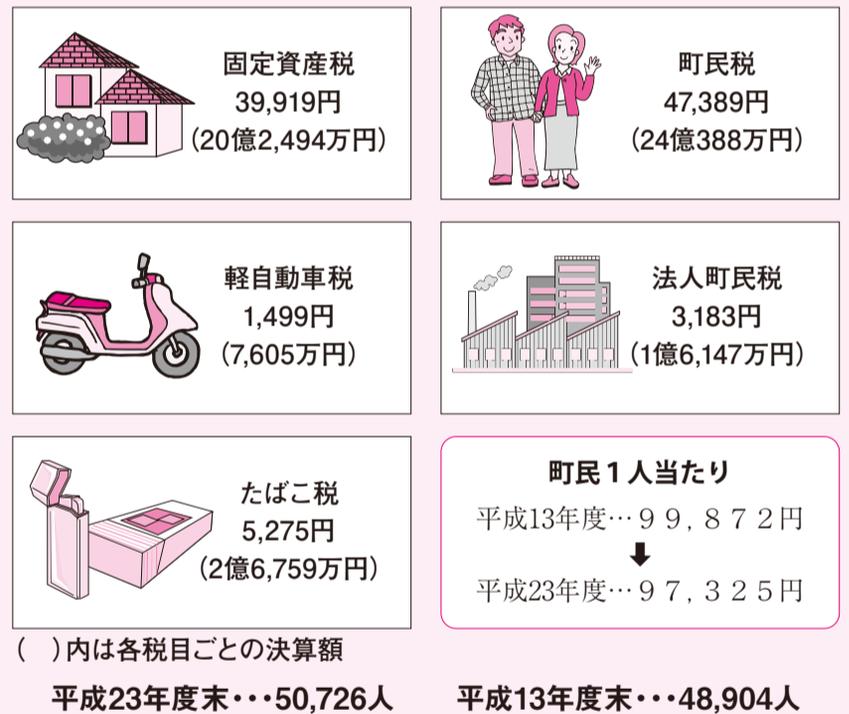
※合計に合わせて一部の会計において切上げ・切捨ての処理を行っています。

一般会計

一般会計の内訳



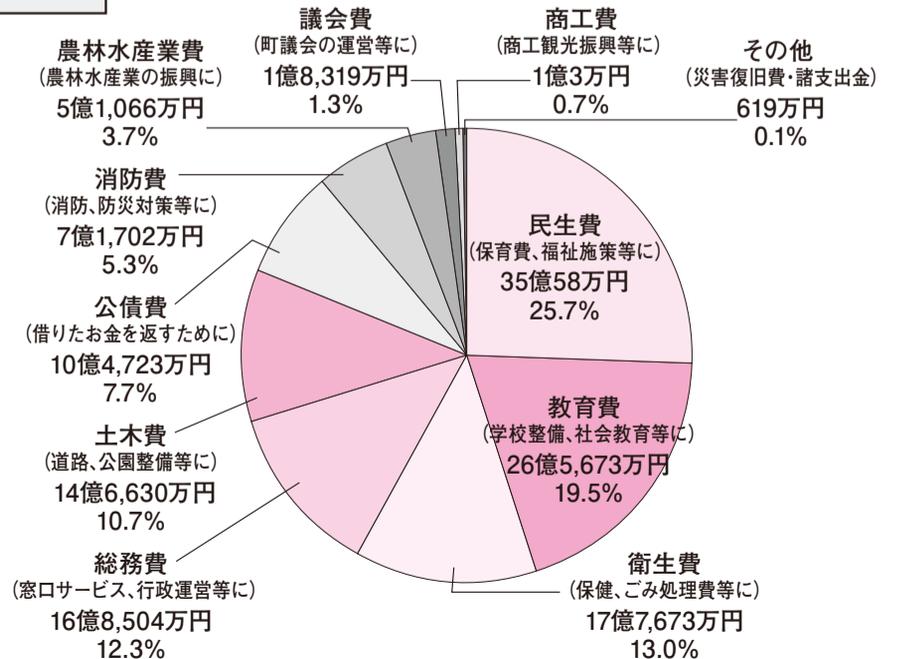
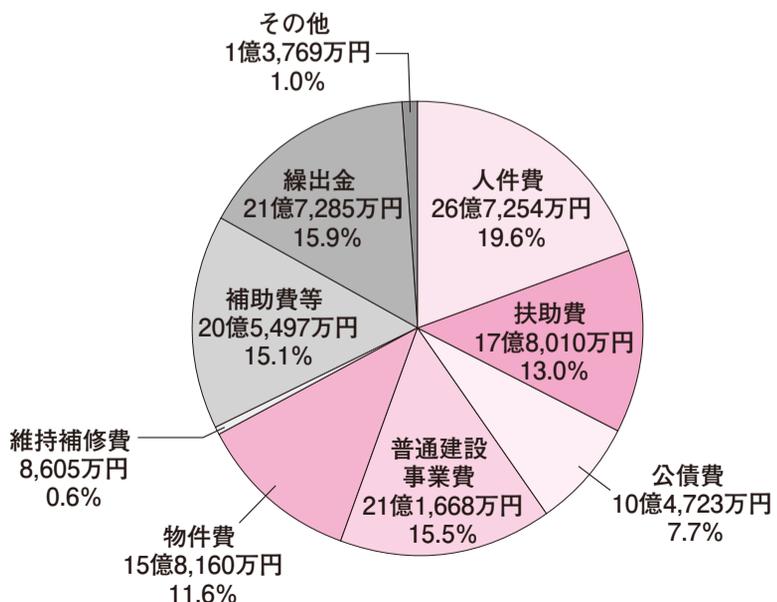
町民1人当たりの町税負担額



性質別

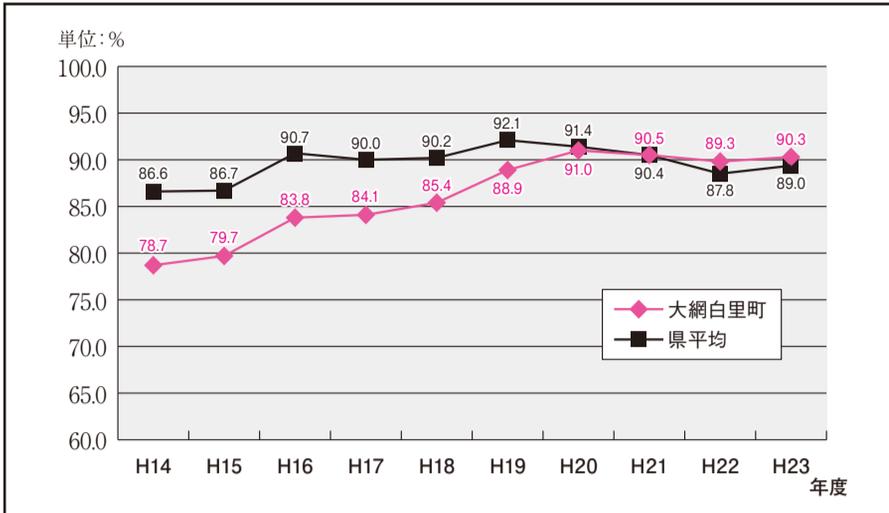
歳出総額 約136億4,971万円

目的別



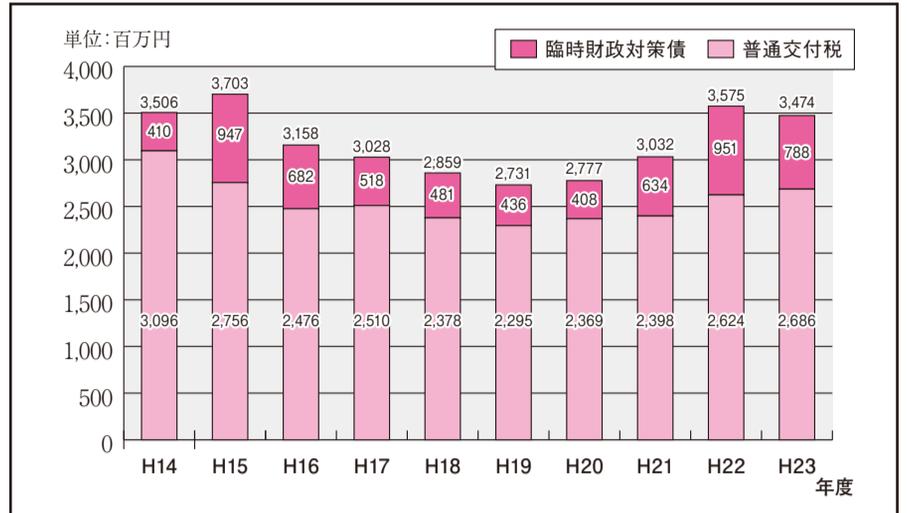
経常収支比率の推移(普通会計)

経常収支比率とは、毎年固定的に支出される経費に充てられた一般財源の割合を示す指標で、この比率が高いほど財政運営上の自由度が低くなると言われています。平成23年度は、臨時財政対策債の発行可能額が減額されたことから、経常収支比率が若干悪化しました。



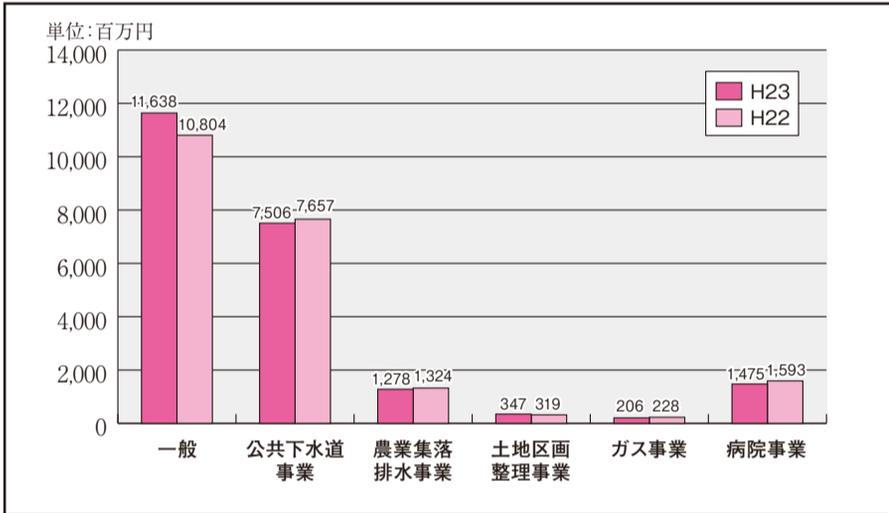
普通交付税等の推移

平成23年度の普通交付税は、臨時財政対策債(制度上、普通交付税の一部を町債に振り替えたもの)を加えた実質的な額で、34億7千4百万円となりました。普通交付税は4年連続で増額となりましたが、臨時財政対策債は大幅な減額となりました。



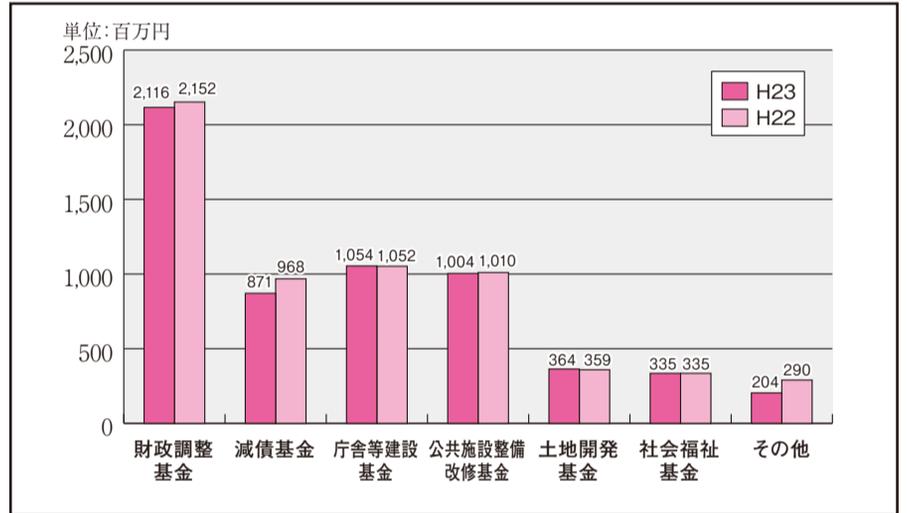
借入金残高の状況(全会計)

平成23年度末の借入金残高は、全会計合計で約224億5,117万円となり、前年度と比べ、約5億2千6百万円の増額となりました。主な理由としては、大網小学校移転改築事業で約6億8千万円借り入れたためです。



基金現在高の状況(全会計)

平成23年度末の基金現在高は、約59億4千8百万円です。平成22年度末と比較すると、合計で約2億1千8百万円の減額となりました。



平成24年度一般会計・特別会計上半期収支状況

(千円、%)

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般	13,463,086	6,168,164	45.8	4,796,555	35.6
特別会計					
国民健康保険	5,664,106	1,836,671	32.4	2,121,137	37.4
後期高齢者医療	393,315	133,966	34.1	80,586	20.5
土地取得事業	20,725	508	2.5	0	0.0
公共下水道事業	1,296,409	203,864	15.7	338,559	26.1
農業集落排水事業	145,824	12,886	8.8	58,594	40.2
介護保険	3,282,365	1,296,041	39.5	1,323,303	40.3
介護サービス事業	18,204	4,992	27.4	7,001	38.5
土地区画整理事業	500,345	82,944	16.6	65,474	13.1

平成24年度公営企業の状況(8月31日現在)

○ガス事業

区分	8月	8月末累計
調定戸数	11,046戸	55,222戸
販売量	346,981m ³	2,876,601m ³
平均使用量	31.4m ³	52.1m ³
平均売上額	2,870円	4,374円

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
ガス事業収益	685,136	254,878	37.2
ガス事業費用	667,162	176,861	26.5

○病院事業

区分	患者数(8月末累計)	1日平均患者数(※)
入院	12,040人	78.7人
外来	30,624人	288.9人

※8月末累計

科目	予算現額(千円)	収入・支出済額(千円)	収入・執行率(%)
病院事業収益	2,156,450	948,076	44.0
病院事業費用	2,106,784	932,488	44.3

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成23年度決算に基づく「健全化判断比率」を算定したところ、いずれの指標におきましても早期健全化基準を下回る数値となりました。

- (1)実質赤字比率: 一般会計等の実質赤字の標準財政規模(※)に対する比率
 - (2)連結実質赤字比率: 全ての会計の実質赤字の標準財政規模に対する比率
 - (3)実質公債費比率: 公債費及び公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率
 - (4)将来負担比率: 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
- ※標準財政規模: 地方公共団体が通常取入されるであろう経常的一般財源の規模を表すものです。

また、公営企業会計における「資金不足比率」を算定したところ、資金不足の発生した公営企業はありませんでした。

平成23年度決算に基づく健全化判断比率

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
大網白里町比率	- (-)	- (-)	11.5%(10.8%)	54.7%(32.7%)
参考				
早期健全化基準	13.47%	18.47%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	40.00%	35.0%	-

・実質赤字額、連結実質赤字額は発生していないので、「-」と記載
・()内は前年度数値

平成23年度決算に基づく資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準	備考
ガス事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 572,702千円
病院事業会計	- (-)	20.0%	剰余額 304,361千円
公共下水道事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 18,730千円
農業集落排水事業特別会計	- (-)	20.0%	実質収支額 3,323千円

・資金不足額は発生していないので、「-」と記載
・()内は前年度数値

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$